

市の重点課題	学校の重点項目	自己評価	達成状況	学校関係者評価委員会から	改善の方向
希望あふれる未来を自ら拓く力を育むための教育課程の編成	<ul style="list-style-type: none"> 「命の尊厳」「自己肯定感を育む」教育を推進していくことを中心に据えて教育課程を編成する。全学年部における研究授業を位置づけたり、児童の意識調査を年3回位置づけたりするなど、PDCAサイクルで実践をすすめる。 自己肯定感・夢を育てる教育の充実を目指し、将来について考えたり体験したりする学習の工夫・改善を図る。 「夢に向かって育つ」ことを核として、児童が主体となって取り組むことができる活動を仕組む。 授業で、児童が主体的で対話的な深い学びができるよう、一日に1回以上、適宜デジタル教科書や授業支援ソフトを活用する場を位置付ける。また、家庭学習支援ソフトを、個に応じた週末や長期休業に活用するよう働きかける。 英語科の授業等において、英語に慣れ親しむとともに、積極的にコミュニケーションを図る姿勢を育てる。 				
コミュニティ・スクールの機能の充実と岐阜市型小中一貫教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> 家庭や地域と学校、中学校区が一体となったあいさつ運動を展開する。児童会や高学年などを中心に主体的な活動を全校へと広める。 コミュニティ・スクールの組織を生かしながら、「いじめ防止キャンペーン」を通して、学校と地域が一体となって児童の人権感覚を育てる場を設定する。 地域の障害者福祉施設との交流やその他の施設との交流を行う。 「木田ふれあい運動会」や地域の防災訓練について、主体的に関われる活動を計画し実施する。 				
あたたかさや働きがいにあふれる学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> 教材研究の仕方や教育相談の方法など、打合せなどでミニ研修を位置づけたり相談しやすい環境を整えたりして、全職員で教育活動を行う。 時間外勤務時間が月45時間以内及び年間360時間の範囲内となるよう、水曜日及び8の付く日を「ノー残業デー」として位置づけ、達成できるようにする。 				
災害、事故、感染症、生徒指導事案等に対する安全性の確保	<ul style="list-style-type: none"> ヘルメットの着用、自転車の乗り方、安全な登下校など、交通事故に遭わない安全指導をする。 生徒指導事案に対し、関係職員で迅速に連携して対応に当たり、事案発生日の内に解決へ繋がる見通しをもつようにする。事案によっては、関係機関とも連携を図りながら、早期対応を図る。 「ここタン」の活用や、SOSを伝えやすい環境づくりをする。 多種多様な非常事態についての知識を高め、災害に遭遇したことを想定した訓練(HUG等)を実施する。 				
教育環境と学校財務環境の整備及び効果的な活用	<ul style="list-style-type: none"> ICT機器を効果的に活用し、教育効果を高められる授業づくりや家庭との連携、効果的な働き方づくりを目指す。 学校施設の定期点検を確実に実施し、適切な対処(修理・修繕等)を迅速に行い、安全な環境を整備する。 				